

聖徳大学 “食”に関する講演会アンケート集計結果

(1) お住まいの場所についてお聞かせください

- ① 松戸市 28人 (25.7%)
- ② 柏市 3人 (2.8%)
- ③ 流山市 0人 (0.0%)
- ④ その他千葉県内 31人 (28.4%)
- ・千葉市 7人
  - ・船橋市 3人
  - ・市原市 3人
  - ・印旛郡 2人
  - ・野田市 1人
  - ・浦安市 1人
  - ・印西市 1人
  - ・銚子市 1人
  - ・四街道市 1人
  - ・八千代市 1人
  - ・鎌ヶ谷市 1人
  - ・我孫子市 1人
  - ・富津市 1人
  - ・木更津市 1人
  - ・成田市 1人
  - ・市川市 1人
  - ・佐倉市 1人
  - ・無記入 3人
- ⑤ 千葉県外 47人 (43.1%)
- ・東京都 14人
  - ・埼玉県 11人
  - ・茨城県 5人
  - ・神奈川県 4人
  - ・三郷市 1人
  - ・さいたま市 1人
  - ・越谷市 1人
  - ・つくば市 2人
  - ・葛飾区 1人
  - ・府中市 1人
  - ・横浜市 1人
  - ・相模原市 1人
  - ・無記入 4人

(2) 性別についてお聞かせください

- ① 男性 3人 (2.8%)
- ② 女性 106人 (97.2%)

(3) 年齢についてお聞かせください

- ① ~20代 95人 (87.2%)
- ② 30代 4人 (3.7%)
- ③ 40代 2人 (1.8%)
- ④ 50代 4人 (3.7%)
- ⑤ 60代 3人 (2.8%)
- ⑥ 70代~ 1人 (0.8%)

(4) この講演会を何で知りましたか

- ① 本学ホームページ 12人 (11.0%)
- ② チラシ 23人 (21.1%)

主な回答

・学園祭の折り込み ・イトーヨーカドー ・小金原福祉会館

・無記入

- ③ その他 70人 (64.2%)

主な回答

・ 1号館の掲示 ・ 学内のエレベーター ・ 学内掲示板

④ 無回答 4人 ( 3. 7%)

(5) 講演会についてお聞かせください

① たいへん参考になった 57人 (52. 3%)

② 参考になった 44人 (40. 4%)

③ どちらともいえない 1人 ( 0. 9%)

④ あまり参考にならなかった 0人 ( 0. 0%)

⑤ 参考にならなかった 0人 ( 0. 0%)

⑥ 無回答 7人 ( 6. 4%)

(6) ご意見がございましたらお聞かせください

- ・ とても楽しい講演でした。ありがとうございました。
- ・ とても楽しく聞かせていただきました。ありがとうございました。
- ・ 本学の卒業生で、日本文化学科出身の者です。どちらかという、言語学的な面に興味を持って参加しましたが、なかなか勉強になりました。ただ、頂いた資料は後で読む分には良いものの、欲を言えばモニターに映しだされたデータをもう少し加えてもらえれば…と思いました。イラストよりも、モニターの映像を紙面に載せてもらった方が、より資料として充実するのではないかと思います。
- ・ 今回の講演によって、食感表現について改めて考える、意識をする良い機会となった。日常的に目にしたり、口にしたりする表現も私自身、無意識のうちに使っていると感じ、食感表現について意識をしながら食事をするのも、おもしろいのではないかと思います。
- ・ 今日で食感用語が色々あることがわかりました。これから先の未来では、新しい食感用語が出るのでしょうか？「わ」行の食感用語がなかったので、これから先出るかな…。
- ・ すごい良かったです。勉強になりました。
- ・ 食を「言葉」という観点から考える機会はあるようでなかなかなかったことなので、大変興味深く拝聴させていただきました。「舌ざわりのよい」という表現が近年挙げられなくなったということや、「ほくほく」が北関東の方言だったということなど、意外だったこと、知らなかったこともあり、楽しく勉強させていただきました。ありがとうございました。
- ・ 楽しい講演でした。
- ・ 今回、早川先生がお話された視点はどれも興味深く、面白かったです。食感表現が多いということは、日本の食が豊かであることを表しているのではないかと感じました。これから食事の時、日本語ならではの語彙を活用して食を楽しんでみたいと思います。貴重なお話をありがとうございました。
- ・ 日本語って面白いなと改めて知りました。
- ・ 言葉っておもしろいと思いました。
- ・ 最後まで興味深く楽しめました。

- ユニークで面白かった。
- とても興味があり、楽しかったです。官能評価する際に、こんなに言葉の数があることにうれしさと楽しさと便利さを学びました。
- 年齢、性別が影響して食感表現が生まれることが面白いと感じました。日本人が食感を大事にしていることは素晴らしいと思うが、それを他国に伝える方法である言葉が少ないのが残念に感じました。日本語で表現できても、英語に直すことは難しいと思います。その方法について考えたいなと感じました。
- 食感を表す言葉、何気なく使っている言葉も、社会や文化、その言葉を使う人の経験や嗜好の影響があることがわかり、あらためて食感を言葉にするとおいしさを共感できると思いました。
- 貴重なお話をありがとうございました。食という観点を“言葉”という違った方向から見ることができました。
- 官能評価の授業の予習・復習も兼ね、聞くことができました。とても興味がそそられる内容でした。
- 食感表現の大切さについて学ぶことができました。
- 今までの言葉の表現の仕方だけでなく、それをどうこれからの食に結び付けていくのかを聞きたかった。言葉と食べることのつながり（おいしく感じたり、まずそうだったり）がよくわかりましたが、食の大切さを考えてそれをどう生かしていくかを知りたいですね。
- 今後、食べた時にできるだけ表現しようと思いました。